

海外安全対策情報（令和元年度第1四半期）

1 社会・治安情勢

4月5日、ボツワナ西部のカン（Kang）で開催された与党BDPの特別総会において、現職のマシシ大統領が本年10月予定の総選挙に向けたBDPの大統領候補に任命された。これを受け、5月、BDP内の反マシシ派の一部はボツワナ愛国戦線（BPF）という新政党を発足し、マシシ大統領と確執のあったカーマ前大統領もBDPを離党し、BPFの支持に回ることを表明した。BPFと野党連合UDCが共闘する可能性も示唆されており、独立以来常に政権の座に就き安定した政権運営をしてきたBDPの足下が大きく揺らいでいる。ボツワナの政局は一層不透明となり、この混乱が今後社会・治安情勢にも影響を与えることが懸念される。今後も政党間の駆け引き等で政局の混乱が予想されるので、より一層ボツワナの政局を注視していく必要がある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- （1）正確な統計、犯罪の傾向等は発表されていないが、ハボロネ近郊のモホディツァネでは、犯罪件数が大幅に増加しているとの新聞報道があった。犯罪発生件数は高い水準で推移しているとみられ、引き続き注意が必要である。
- （2）邦人被害事案
日曜日午後のショッピングセンター駐車場での車上荒らしの被害があった。
- （3）邦人以外の被害事案
ハボロネ郊外での拳銃強盗の被害などが確認された。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ事件に相当する事案は確認されていない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

外国人の被害は確認されていない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

対日感情は引き続き良好で、大きな変化はなく、日本企業が犯罪の標的とされる可能性は低いと考えられる。